

平成30年度 河川砂防技術研究開発公募 地域課題分野(河川生態) 研究開発テーマ
 <一般研究:中間評価結果>

テーマおよび概要		研究代表者名	評価	審議結果
テーマ	流域地質及び河道・氾濫原変化が菊池川水系の河川生態系の構造と機能に及ぼす影響とそれに基づいた河道管理手法に関する研究	九州大学 島谷 幸宏	a	平成30年度一般研究(継続)として採択する。
概要	菊池川流域を対象に、地質・地質構造の差異に基づいた渓流域の調査、氾濫原域の生態系の広域調査を行う。それらの知見をもとに、地質・地質構造、氾濫原環境の相違に基づいた河川管理手法を提言する。			
テーマ	河川中流域における生物生産性の機構解明と河川管理への応用	信州大学 平林 公男	a	平成30年度一般研究(継続)として採択する。
概要	河川中流域の瀬・淵ユニットにおいて、緻密なフィールドデータと数値モデルを駆使し、生物生産の機構解明を行い、生物生産を良好に保つための河川管理基準「生産性管理基準」を提案し、今後の川づくりに応用する。			
テーマ	木曾三川流域における生物群集を対象とした河川生態系の管理手法に関する研究	岐阜経済大学 森 誠一	b	平成30年度一般研究(継続)として採択する。
概要	木曾川水系流域の湧水域と氾濫原域にある連続性低下等の共通課題と、その原因、メカニズム、事業対策という異質な課題に対して、進化的な時間スケールを視野に入れた生態学的アプローチによって解明・提言する。			

評価の判例

- a:非常に優れた研究であった
- b:優れた研究であった
- c:条件付きで評価できる(研究費の減額等)
- b:優れた研究ではなかった(研究の打ち切り)